身近な災害リスクをご存じですか

（施設園芸向け）

農業経営には、自然災害等の様々なリスクがあります。

農業者の皆様には、様々なリスクに対し、自ら備えるという意識を高めていただき、保険を利用することが重要です。

園芸施設共済、収入保険の詳細はコチラ

農業保険　検索

農林水産省

令和７年11月版

自然災害は日本各地で発生しています！

台風

- 台風は、平均的に毎年３個が上陸しています。
  ※1995年～2024年の30年間の平均）
- 近年、台風が強い勢力を保ったまま上陸し、観測史上１位となる最大瞬間風速や降水量などが各地で記録されています。

＜台風被害の様子＞

＜台風の上陸数＞

年	上陸数	年	上陸数	年	上陸数
1995	1	2005	3	2015	4
1996	2	2006	2	2016	6
1997	4	2007	3	2017	4
1998	4	2008	0	2018	5
1999	2	2009	1	2019	5
2000	0	2010	2	2020	0
2001	2	2011	3	2021	3
2002	3	2012	2	2022	3
2003	2	2013	2	2023	1
2004	10	2014	4	2024	2

令和２年 台風10号

33地点で最大瞬間風速の記録更新（長崎県野母崎で59.4mなど）

令和４年 台風15号

６地点で24時間降水量の記録更新（静岡県静岡市鍵穴で405.0mmなど）

令和５年 台風13号

10地点で１時間降水量の記録更新（東京都三宅村三宅坪田で123.5mmなど）

令和６年 台風10号

九州の複数の観測地点で８月の最大風速の観測史上１位を更新

出典：気象庁データ及び国土交通省公表資料より

竜巻

- 竜巻は、平均的に毎年約16件の発生が確認されています。※2014年～2024年の平均、海上竜巻を除く。
- また、前線や台風の影響および大気の状態が不安定になりやすいことなどにより、７月から11月にかけて多くなります。

＜竜巻の発生確認数＞

年	件数	年	件数
2014	21	2020	11
2015	26	2021	15
2016	18	2022	15
2017	10	2023	13
2018	20	2024	14
2019	10	平均	16

出典：気象庁データより

特別警報の発表件数

「特別警報」とは、警報の発表基準をはるかに超える数十年に一度の大災害が起こると予想される場合に発表し、最大限の警戒を呼びかけるものです。

- 平成25年８月30日から運用が開始され、約12年で1,997件（１年あたり平均約166件）の特別警報が発表されています。

出典：気象庁データより

大雪

➢ 近年、平年の２倍を超える積雪となる大雪や短時間に降り積もる大雪が発生しています。

平成26年２月大雪

24地点で平年の200%を超える積雪
（山梨県甲府市で814%など）

令和２年12月大雪

全国11地点で200cmを超える降雪
（群馬県藤原で291cmなど）

令和３年１月大雪

全国６地点で150cmを超える降雪
（新潟県高田で24時間降雪量103cmなど）

出典：気象庁データ

＜雪による被害の様子＞

地震

➢ 令和６年１月に石川県能登半島を震源とする地震が発生し震度７を観測。また、８月に日向灘を震源とする地震が発生し震度６弱が観測されています。

＜震度５以上の地震の発生回数＞

年	発生回数	年	発生回数
2015	10	2020	7
2016	33	2021	10
2017	8	2022	15
2018	11	2023	8
2019	9	2024	28

出典：気象庁データより

大雨

➢ 近年、大雨や短時間豪雨の発生回数が増加しています。

※統計が始まってから最初の10年間（1976年～1985年）の平均と最近10年間（2015年～2024年）の平均とを比較

大 雨
（日降水量200mm以上）

全国1,300地点において１日当たりの降水量が200mm以上となる年間日数は、統計開始後最初の10年間では約160日でしたが、最近10年間の平均では約251日となるなど、約1.6倍に増加しています。

（出典）［全国アメダス］日降水量200mm以上の年間日数より

短時間豪雨
（１時間降水量80mm以上）

全国1,300地点において１時間当たりの降水量が80mm以上となる年間発生回数は、統計開始後最初の10年間では約14回でしたが、最近10年間の平均では約24回となるなど、約1.7倍に増加しています。

（出典）［全国アメダス］１時間降水量80mm以上の年間発生回数より

その他の自然災害（落雷や降雹など）

➢ 落雷や降雹は発生しやすい時期や地域に偏りがありますが、園芸施設共済に加入している農業用ハウスでは、令和６年に落雷による被害が832棟、降雹による被害が892棟発生しています。

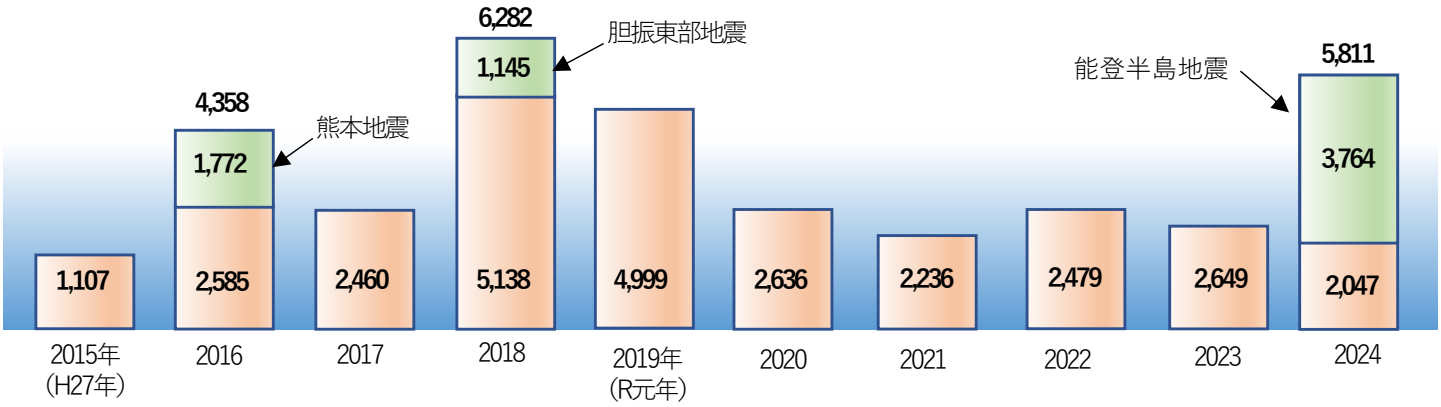
出典：農林水産省調べ

農林水産業への被害は毎年発生しています！

➢ 農林水産関係の自然災害による被害額の最近10年間の平均は、約3,502億円となっており、その中でも2018～2019年は２年連続で台風による甚大な被害が発生！

資料：農林水産省作成
注：2024年の被害額は、2025年3月末時点の数値
単位：億円

過去10年の農林水産関係の自然災害による被害額

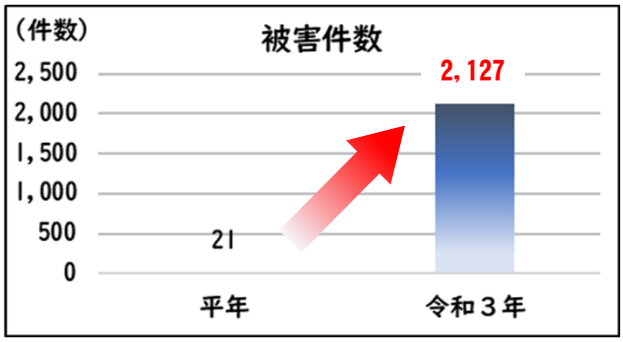


農業用ハウスに大規模な被害が発生しています！

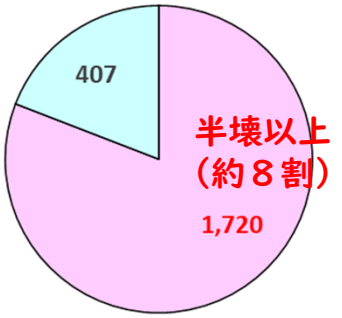
秋田県　令和３年（2021年）１月に大雪が発生

➢ 被害件数は平年の約103倍

➢ 被害件数の約８割が半壊以上の被害（約７割は全壊の被害）



＜2,127件の被害件数のうち半壊以上の件数＞

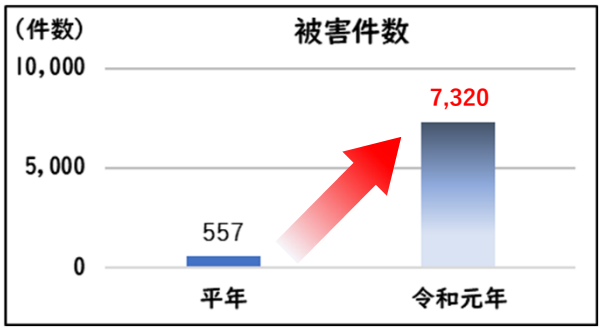


※秋田県における園芸施設共済に加入しているパイプハウスの１月事故による比較。
平年は過去10年間（平成27年～令和７年）の令和３年を除いた平均。

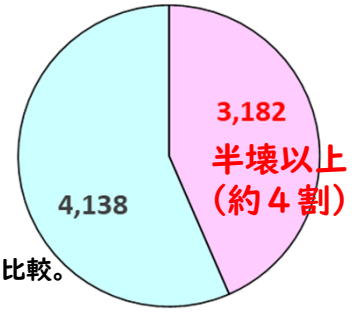
千葉県　令和元年（2019）年に台風15号・19号が襲来

➢ 被害件数は平年の約13倍

➢ 被害件数の約４割が半壊以上の被害（約１割は全壊の被害）



＜7,320件の被害件数のうち半壊以上の件数＞



※千葉県における園芸施設共済に加入しているパイプハウスの９月・10月事故による比較。
平年は過去10年間（平成26年～令和６年）の令和元年を除いた平均。